

親子で田植え体験 40人参加



稲が立派に育つように

ずんずんずん隊

5月26日、「ずんずんずん隊」第1回目の活動となる「田植え」が名古熊地区の田んぼにて行われました。

「ゆめかなえ隊」の皆さんを講師に向かえ、約

40人の親子が参加しました。

冷たい田んぼの水と慣れない泥の感触に驚く姿が見られたり、悲鳴が聞こえたりしましたが、親子で和気あいあいと苗を植えていました。

「ゆめかなえ隊」の隊長の木下周次さんは「と

ても多くの家族にご参加いただき、お米作りに対する関心の高まりを感じています。親御さんがお子さんに植え方を教えている姿は昔ながらの田植えの様子を彷彿しました。育てた稲が立派に育つことを心から願っています」と話してくださいました。

えんいこぞい

夜中に目が覚めて、スマホに保存してある子どもの写真をさかのぼって見ていくと、この10年はあつという間だったなあと感じた。親としては保育園の頃が、この間のようだが、子どもたちは10年かけて心も体も成長し続けている。コロナ禍の数年間行事の写真が少なくて寂しいが、ここ最近はとても楽しそうな写真が増えてきてとても嬉しい。様々な地域の行事に参加して無邪気な笑顔を見せていた幼い子どもたちの写真を1枚ずつ送っていくと、最近中学生ボランティアとして行事に関わっている写真に変わっていく、たくましく成長した姿を見て微笑ましく思った。

時代に合わせて公民館行事のあり方も変化してきており、スクラップアンドビルドの考え方も必要な場面があると感じているが、地域にいる子どもたちは時代が変わっても素直で無邪気だ。夜中にたくさんの写真を見て目が疲れたことはさておき、今後も地域の子どもの成長を願いながら、楽しい公民館行事を継続していきたいと強く思った。

7月6日②
講演会「須山計一
人と作品」

公民館長 笹 行夫

去る5月3日のワンデーマーチは好天に恵まれ、500名を超える皆さんの参加をいただき、楽しんでいただきました。引き続き、新たにスタッフに主事・伊藤愛さん、スポーツ推進委員・牧野義彦さんを加え、諸行事、諸講座を充実させてまいります。ご期待ください。

ところで、皆さんは公民館の2階にある「須山計一記念室」にお入りになったことはありませんか？今年、戦後80年、男子普通選挙法や治安維持法が制定されて100年、また鼎村が発足して150年という節目の年ですが、また一色に生まれた画家・漫画家の須山計一の生誕120周年、没後50周年に当たります。信州と東京を拠点に激動の時代を精一杯生きた須山の人物作品を、飯田美術博物館の学芸員・小島淳さんにお話しいただきます。是非お出掛けください。

よくしつお願いしつ
鼎公民館主事
伊藤 愛

この4月から鼎公民館に異動して参りました伊藤愛と申します。鼎に来て様々な方が温かいお言葉を掛けくださり、元気を頂きながら日々楽しくお仕事をしております。

鼎地区といえば、分館活動が盛んなイメージがあります。先日のワンデーマーチでは、分館ごとに特徴ある旗を掲げて和気あいあいと歩く姿に連帯感を感じ、とても感動しました。

そのような素晴らしい分館活動がある中で、公民館主事としてできることを考えながら、皆さんと楽しく活動して参りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

令和7年度 鼎公民館事業計画

- ふるさと再発見 ワンデーマーチ 5月3日(土・祝)
- 鼎地区分館対抗パタンク大会 6月8日(日)
- 「須山計一 人と作品」講演会 7月6日(日)
- かなえっこどきどきスクール 7月26日(土)～27日(日)
- いいだ人形劇フェスタ2025 8月7日(木)～10日(日)
- ニュースポーツ講習会 8月22日(金)
- 小中PTA公民館合同講演会 9月5日(金)
- 第37回鼎地区縦断駅伝大会 9月7日(日)
- ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭 11月1日(土)～2日(日)
- 令和7年度鼎地区二十歳の集い 8年1月11日(日)
- 第38回鼎公民館長杯冬季スポーツ大会 8年2月1日(日)
- 飯田市公民館大会 8年2月15日(日)

学びの一年

青山穂高

この4月、鼎公民館から市立病院医事課に異動になりました。1年でしたが、主事在任中は大変お世話になりました。

先日、異動先の歓送迎会であつたま公民館役員の方とお会いしました。その際上司から「青山君は本当によくやってくれている。地区の方に育てていただいたおかげだ」と

長い歴史のある高齢者学級華甲大学は本年度も5月に年会員の皆さんの参加のもと開講式と第1回の講座を行いました。来年の1月までオープン企画を含め原則毎月第3木曜日に開講します。

講座の内容については会員の皆さんのアンケート等を参考に例年好評な講座や話題性があり関心をもたれていることなどをおりまぜながら運営委員会にて企画

華甲大学活動予定

運営委員長 西塚孝義

をしました。講師についてではできるだけ身近な方々をお願いをしています。また10月には研修旅行を行い本年は山梨県方面へと予定しております。

鼎公民館主催ですが60歳以上であれば鼎地区外の方も受講でき現在多くの方が参加されています。

また年会員でなくても単発での受講もできますのでぜひ一度参加をしてみてください。一緒に楽しく学び合ひましょう。

令和7年度華甲大学予定表

会場:鼎文化センター ホール
時間:午後2時～3時40分

	日程	タイトル
1回	5月15日(木) 開講式	わらった、笑った あ～みんなで笑った「お腹かかえて笑えること間違いなし」
2回	6月19日(木)	認知症予防のポイント
*	7月6日(日) 10:00～11:30	【オープン企画】 鼎出身の洋画家 須山計一 ～人と作品～ 生誕120周年/没後50周年記念講演会
3回	7月17日(木)	童謡・唱歌・懐メロとリトミック体操
4回	8月21日(木)	三遠南信地域の連携について ～三遠南信地域連携ビジョンの推進～
5回	9月18日(木)	飯田のお菓子の歴史
6回	10月10日(金)	1日研修旅行 (山梨 勝沼の旅)
7回	11月20日(木)	小笠原氏についての「イロハ」 ～信州の名門一族が遺したもの～
8回	12月18日(木)	落語で笑おう
9回	1月15日(木) 閉講式	からだイキイキ体操 ～介護予防～

ふるさと再発見 ワンデーマーチ

総勢500人が参加

5月3日(土・祝)

新緑に囲まれて
再発見した鼎の魅力

文化委員長
林 篤史

今年度のワンデーマーチは晴天のもと各分館から総勢500名の皆さんが参加して、普段なかなか歩く機会がない6.6kmのルートを賑やかに歩きました。松川のせせらぎを聞きながら眩しい若葉の新緑に触れて切石方面へ向かい、切石会館では郷土史家の村澤通雄さんから切石地区の石像文化財について

丁寧にご説明をいただきました。なかなか知ることのできない地域の歴史を学べて、とても貴重な機会になったと思います。お忙しい中ありがとうございました。帰りは上茶屋多目的集会センターをお借りして休憩を取り、ゴールの鼎公民館へ戻りました。終了後は各分館で慰労会が行われ、参加者同士の交流が図られたことと思います。

娘と参加しました
切石 下澤幸治

5月3日にワンデーマーチが開催されました。娘と参加して今年で2回目になりました。鼎公民館から出発して下茶屋、中平の松川沿いを切石まで歩き、出発地点へ戻るコースでした。初めて歩く場所ということもあり、とても新鮮に感じ、歩かないと見ることでない風景もありました。折り返し地点の切石会館では、村澤さんから石造り



の皆様にご案内をお願いしたことで、安全に行事を終えることができました。今後、委員会の枠を超えて協力しながら公民館行事を進められると思います。本当にありがとうございました。

鼎について学ぶ

中平 戸崎佳代

5月3日晴天の絶好の散歩日和に、楽しくワンデーマーチに参加しました。切石・上茶屋コースをベビーカーに乗った子からシニア世代までが、ゆっくりと2時間半程かけて巡り、鼎について学びます。

今回は「切石地区の石造文化財について」と題し、名古熊生まれの俳人太田木甫(もほ)の句碑が



文化財について講話を頂き、石に残された思いを知ることができました。普段から歩くことが少ないため、ワンデーマーチは子どもと歩ける貴重な機会となりました。

妙琴公園にあると知りました。

鼎から諸国遍歴をした俳人がいたとは、鼎は文化的地区なんだねえなどと思い身体にも心にも充実した日になりました。



6/8 鼎地区体育祭 ペタンク大会 結果

順位	地区名	勝ち数	引き分け
優勝	一色	17	1
準優勝	東鼎	16	0
3位	西鼎	13	2
4位	名古熊	13	0
5位	上山	12	0
6位	中平	10	2
7位	切石	10	1
8位	下山	9	1
9位	下茶屋	8	4
10位	上茶屋	5	2



風を切って波に乗る

東
小
木
曾
学
さ
ん
(69歳)



今回のかなえびとは、東川区長の小木曾学さんを紹介します。

小木曾さんは水上バイクを趣味としています。今から35年ぐらい前に、消防団を退団して時間に余裕ができた時、友人からの誘いで小型船舶操縦士の免許をとり、水上バイクを始めました。

カワサキのジェットスキーが最初で、現在はヤマハのマリンジェットに乗っています。爽快地風を切り、スピード感のある乗り物です。その体感スピードは陸上の約3倍とも言われ、その疾走感も魅力の一つです。

かなえびと

No.59

よく行く場所は、水のきれいな美和ダム、また南宮峡から平岡ダムは飯田線に沿って天竜川が流れ、景勝地が広がっております。私たちが生活する上で、無くてはならない信号や決められた道が無いので、自由奔放に走れる解放感を味わうことができます。

小木曾さんはルール、マナーを守り上質なゆったり感で水上バイクを楽しんで、贅沢な時間を過ごしています。

最近、体力的に自信がなくなる年齢にきていますが、川や海に出かけ運動不足を解消、自然を満喫してリフレッシュし、体力維持・健康に気を付けて、地域にかけわりを持って生活していきたいと話をしてくれました。

(取材：黒河内直弘)

今、興味があること

一色 上 條 奏 多 さん(6年生)



多くの興味があることはつりです。なぜかというと、魚にも興味があるし、魚がエサに食いついたときに伝わってくるサオの不規則なしんどうや引っぱられる元気な力、つれない時はつれない時でのまち時間もとても楽

しいからです。つりに行けない日が続いても本を見てつりに行った気分になるのでつりはやめられません。つりばりでのつりは、当たりやすかったり、当たりづらかったりして行くたびに勉強になり、ますますつりを続けたいです。海づりはまだやったことがないので、いつかやってみて、たくさんの方をマスターしていきたいです。

編集後記

新年度がスタートして早3か月が経とうとしています。今年は4月に入り、暖かかった日々も少し足踏み状態でしたので、待ち望んだ桜も、いつもの年より長く楽しめた気がします。

公民館活動の大きな行事の一つであるワンデーマーチが5月3日に開催

されました。前日の雨で天気も心配されましたが、快晴の中、平坦ではありますが、全長6.6kmをゆっくりに皆様と会話しながら歩き、心地良い疲労感に浸りました。

(Y・K)



No.133